※令和４年度以降入学生用

学校番号	1204

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ１」　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌唱、器楽、創作、鑑賞の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる素質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）曲想と音楽の構造や文化的･歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

（２）自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

（３）主体的･協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。（知識） ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。（技能）	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	曲にふさわしい発声で表現豊かに歌おう	【歌唱】 校歌 「ヴォイス・トレーニング」 小さな空 ´O sole mio	a:（知）曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 （技）創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	発表 演奏の聴取 振り返り レポート	観察 発表 ワークシート
	表現を工夫してリコーダーを演奏しよう	【器楽】 天国と地獄 C-a-f-f-e-e グリーンスリーヴス ザナルカンドにて	a:（知）曲想とリコーダーの音色や奏法との関わりについて理解している。 （技）創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり、及びアーティキュレーションに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察	ワークシート 演奏の聴取	観察

※令和４年度以降入学生用

	ＪＰＯＰや歌謡曲の特徴を理解して歌おう	【歌唱】 Lemon/翼をください/負けないで/若者のすべて/東京ブギウギ クリスマス・イブ 【鑑賞】 「歌謡曲から J-POP への 100 年」 「ルールを守って音楽を楽しもう！」	a:（知）曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりについて理解している。音楽の特徴と文化的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 （技）創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。音楽の特徴と文化的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 発表 演奏の聴取	発表 演奏の聴取 観察 ワークシート	観察 ワークシート
２学期	音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう	【鑑賞】 「音楽を織りなすさまざまな要素」 組曲《動物の謝肉祭》 交響曲第9番《合唱付き》から第4楽章 バレエ音楽《火の鳥》組曲	a:（知）曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	観察	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	発音や発声を工夫して声によるアンサンブルをつくろう	【創作】 「オノマトペでリズム・アンサンブルをつくろう」	a:（知）オノマトペを連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 （技）創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこと感受したこととの関りについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c:オノマトペを連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	観察 ワークシート	観察 ワークシート
	表現を工夫してヴォイス・アンサンブルをしよう	【歌唱】 サザエさん	a:（知）曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 （技）創意工夫を生かした歌詞表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、及び合唱やヴォイス・アンサンブルなど表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、ヴォイス・アンサンブルによる表現の特徴、及び各パートや指揮者の役割に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	観察 ワークシート	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	和楽器に親しみ、演奏に挑戦しよう	【器楽】 箏〈初段〉(箏曲《六段の調べ》から) 【鑑賞】 箏曲《みだれ(乱輪舌)》	a：（知）曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及び和楽器を使った様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 （技）創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 b：音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c：曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及び和楽器を使った様々な表現に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。和楽器やその作品の特徴、及び他の楽器と比較した際の音楽表現の共通性や固有性に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	観察 ワークシート	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	ミュージカルナンバーを歌おう	【歌唱】 Memory 【鑑賞】 ミュージカル《キャッツ》	a:（知）曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解している。 （技）創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。音楽の特徴と他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	観察 ワークシート	観察 ワークシート
	作曲家の生涯と作品をたどろう	【鑑賞】 「クローズアップマエストロ」 J.S.バッハ/W.A.モーツァルト	a:（知）曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それ　らの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	さまざまな器楽アンサンブルを楽しもう	【器楽】 タイムマシンにお願い	a:（知）曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 （技）創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能、及び器楽アンサンブルの表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わり、及び他者との調和や表現形態の特徴を生かして演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	観察 ワークシート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度